

災害対策関連情報について

1. 災害時情報共有システムについて
2. 防災リーダー養成等支援事業について

1. 災害時情報共有システムについて

災害時情報共有システムとは
(R3年度から運用開始)

⇒災害時に介護施設等へ迅速かつ適切な支援を行うため、国・自治体が介護施設等の被害状況を迅速に把握、共有するためのシステム



青森県東方沖地震における報告状況

対象事業所数	報告済み事業所数	未報告事業所数	報告率 (報告済み÷対象事業所)
3, 2 8 6 件	1, 8 1 0 件	1, 4 2 6 件	約 5 5 %

※資料作成 (12/18) 時点

⚠ 災害警報等により国・自治体から被害状況の報告を求められた
場合、被害が無くても報告

災害時情報共有システムへの入力までの手続き

①介護サービス情報公表制度対象事業所

→介護サービス情報公表システムの情報が引き継がれるため、災害時情報共有システムへの**事前登録等は不要です**。IDパスワードも介護サービス情報公表システムと同じものです。

※失念した際は県社協情報公表センター（017-723-1391）に問い合わせを。

②介護サービス情報公表制度対象外事業所

（サ高住、養護老人ホーム、有料老人ホーム、軽費老人ホーム、生活支援ハウス）

→災害時情報共有システムへ**事前登録が必要です**。県から手続きについて通知しておりますので、内容をご確認のうえ必要な手続きを進めてください。システムへの登録が終わり次第、別途IDパスワードを通知します。

①検索エンジンで

<https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/houkoku/02/>と検索

操作マニュアル
はこちらから

介護サービス情報報告システム

[▶ お問い合わせ先](#) [▶ ヘルプ](#) [▶ ご利用条件](#)

ID・パスワードを入力して「ログイン」ボタンを押してください。

ID(半角英数字)	<input type="text"/>
パスワード(半角英数字)	<input type="password"/>
サービス名	介護サービスコードを選択して下さい ▼

②ID（介護保険事業所番号or13桁）
及びパスワード（英数字小文字8文
字）を入力してください

※ 予防サービスのみ単独で報告対象となっている事業所の場合も、「サービス名」は同種の
介護サービスを選択してログインしてください。

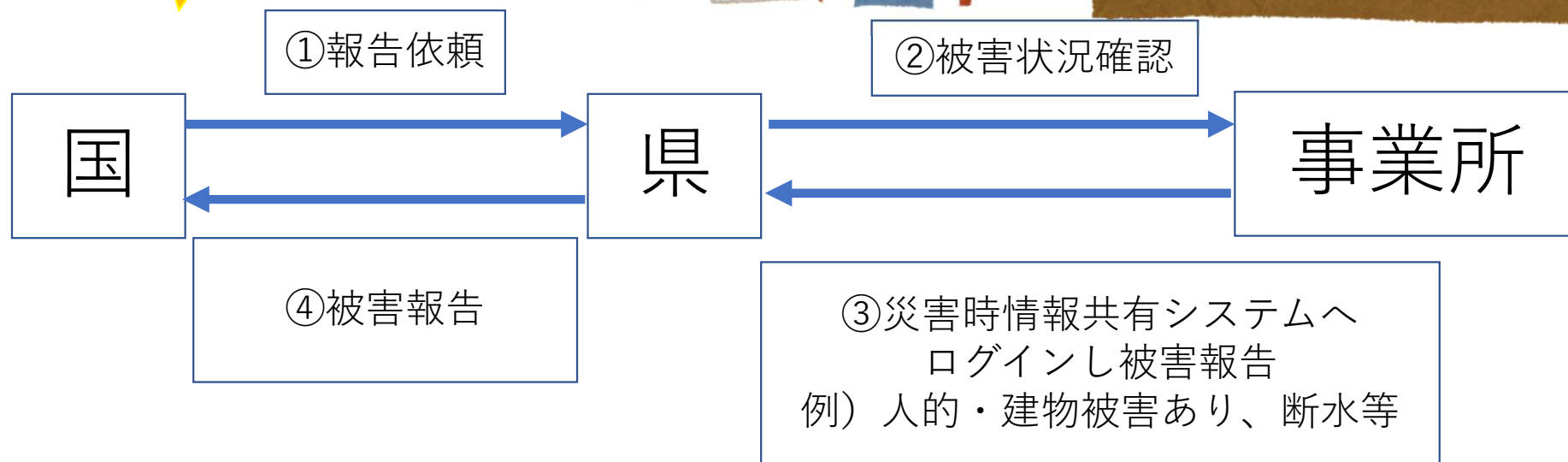
ログイン

[パスワードを忘れた方はこちら](#)

[このページのトップへ](#)

発災から被害報告までの流れ

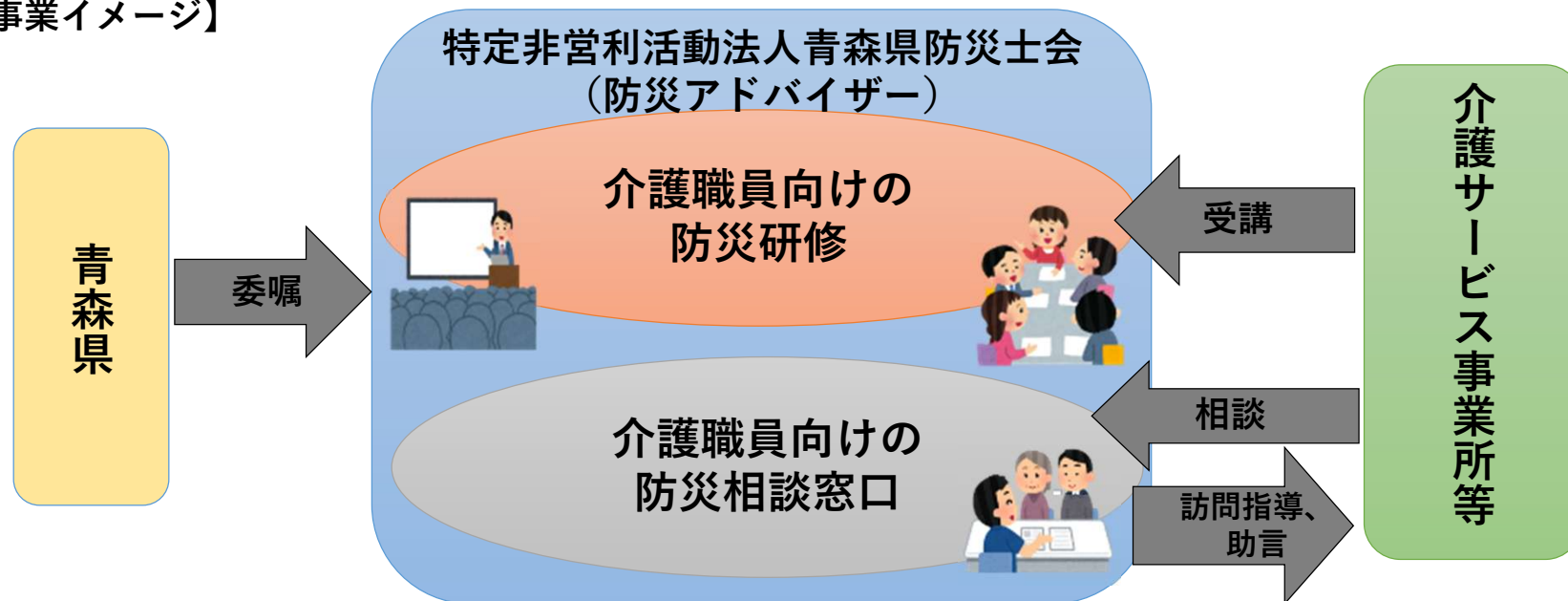
災害発生



2.介護施設等における防災リーダー養成等支援事業

- 介護施設等は、自力避難困難な方が多く利用されていることから、利用者の安全を確保するため、災害に備えた十分な対策を講じることが必要である。
- 介護施設等の介護職員については、災害発生時において、現場で避難のタイミング等を判断することが必要となるため、防災知識の習得などが求められる。
- そこで防災知識の習得のため、集団指導の際に防災・減災に関する研修を行う。また各介護施設等から防災・減災に関する相談・質問等を受けるための「防災相談窓口」を設置し、希望する介護施設等に対して、直接訪問し防災・減災に関する助言等を行う。

【事業イメージ】



防災アドバイザー派遣の様子



1. ダンボールベッドの組み立て
縦は約2m。200キロの重さに耐えることができます。ダンボールなので頑丈で、1か月ほどもちます。



2. 防災テントの紹介
2m×2mの広さになり、ダンボールベッドと避難するときに持っていく荷物が入る広さがあります。



3. エアーストレッチャーの実演
寝た状態で安全に搬送する方法を説明しています。